

科目名	経営学概論 Survey of Business Administration		選択	2 単位
学期・曜日・時限	春・月・4 限※	春・月・5 限※	-	-
担当教員名	東瀬 朗			
<p><講義の概要と目的></p> <p>本講義では「経営」が企業及び組織の運営に果たしている役割を論じることを通じて、経営学で取り扱う各分野への導入を行う。特に、組織と戦略の関係にスポットを当て、経営大学院において考えるべき各種課題について議論を行う。</p> <p>本講義の履修を通じて、経営学及び経営管理の役割の概要を把握し、個別テーマの学修の基礎を身につけることが期待される。</p>				
<p><講義計画></p> <p>1 回目<経営学の基礎・経営管理とは何か></p> <ul style="list-style-type: none"> ・現代の企業及び組織において「経営」が果たしている役割を概説する。 <p>2・3 回目<経営管理に求められる機能></p> <ul style="list-style-type: none"> ・経営における「戦略系」「実行系」「数値系」3つの機能について説明を行う。 <p>4 回目<小規模組織における経営管理の役割></p> <ul style="list-style-type: none"> ・中小企業など、組織の規模が小さい場合に、経営管理の役割がどのように変化するかの議論を行う。 <p>5・6 回目<戦略と判断：ケース討議></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ソフトバンク株式会社創業期の事例を元に、経営における戦略と判断の役割についてグループ及び全体で討議を行う。 <p>7 回目<戦略と判断：講義></p> <ul style="list-style-type: none"> ・討議の結果を踏まえ、経営戦略と経営判断の関係について講義を行う。 <p>8 回目<社会的責任を意識した経営管理></p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会課題の解決に企業としてどのように関与できるかを論じ、社会的責任を意識した経営管理とはどのようなものか議論を行う。 <p>9・10 回目<インセンティブ設計：ケース討議></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「青色 LED 訴訟」と「知的障害者中心の工場」、2つの事例より、組織におけるインセンティブ設計をどのように行うべきかについてグループ及び全体で討議を行う。 <p>11 回目<インセンティブ設計：講義></p> <ul style="list-style-type: none"> ・討議の結果を踏まえ、組織におけるインセンティブ設計のあり方について講義を行う。 <p>12 回目<組織文化></p> <ul style="list-style-type: none"> ・組織文化が経営管理に与える影響及び、組織文化をどのように理解するかについて講義を行う。 <p>13・14 回目<組織文化と組織の変革：ケース討議></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヤフー株式会社の事例を元に、組織及び組織文化の変革をどのように進めればよいかグループ及び全体で討議を行う。 <p>15 回目<組織文化と組織の変革：講義></p> <ul style="list-style-type: none"> ・討議の結果を踏まえ、組織及び組織文化の変革の進め方について講義を行う。 				

<講義の進め方>

講師からの講義に加え、ケースを用いたケース討議を行う。ケース討議には事前予習課題を課す。ケース討議は、講義冒頭で講師より討議の概要を説明した後、グループに分かれケースの内容及び講師より提示するケース設問について議論を行う。グループ討議終了後、全体討議を行いグループ討議の内容を共有する。グループ討議及び全体討議の時間配分については、講義内容に合わせ適時指示を行う。

<教科書及び教材>

慶應ビジネススクール作成の下記ケースを利用する。授業の履修には、ケースの購入を前提とする。なお、ケースの購入方法については、履修登録後に別途案内を行う。

- ・孫正義のリーダーシップ…ルール・ブレイカーか、ギャンブラーか ¥1,188
- ・ヤフー株式会社 2013 高業績企業の企業変革 ¥864
- ・日本理化学工業株式会社 ¥648
- ・青色 LED 訴訟・2004 年 200 億円判決 ¥486

<参考書>

- ・山根節著：戦略と組織を考える－MBA のための 7 ケース 中央経済社
- ・山根節著：MBA エグゼクティブズ 中央経済社
- ・E.H. シャイン著 金井壽宏監訳： 企業文化 生き残りの指針 白桃書房
- ・伊丹 敬之・加護野 忠男著：ゼミナール 経営学入門 日本経済新聞社

<成績評価方法>

- ・欠席 6 回以上は成績評価しない。
- ・学期中課題 3：最終レポート 3：授業への貢献 4 の比率で評価を行う。

<履修条件> 特になし。

<DVD による視聴> 可

<オフィスアワー> 講義の前あるいは後に時間を取りますので事前にアポイントメントを取って下さい。

<その他>

- ・講義内の討議を重視しますので、ケース討議の前にケースを十分に読み込み、議論に積極的に参加することを期待します。
- ・変則的な日程での開講となるため、開講曜日・時限に注意すること。

※月曜講義 4 回と土曜集中講義 11 回の計 15 回で行われます。

月曜講義は以下の日程となります。

4 月 17 日 (月)、4 月 24 日 (月)、5 月 8 日 (月)、5 月 15 日 (月)

土曜集中講義は以下の日程になります。(4 限、5 限合同で行われます)

5 月 27 日 (土) 2 限、3 限、4 限

7 月 22 日 (土) 1 限、2 限、3 限、4 限

7 月 29 日 (土) 1 限、2 限、3 限、4 限